

さいと 市議会だより



三月定例会の概要

平成十六年第一回定例会は、三月二日に招集、十九日までの会期で行われ、平成十六年度西都市一般会計予算一五二億九四七七万五千円など、市長提出議案五十三件、議員提出議案二件、請願一件の審議を行いました。

審議の結果、議案五十五件中、六件を同意、四十九件を原案可決、請願一件を継続審査としました。

一般質問では、十名の議員が登壇し市政に対する質問を行いました。

今回は認定農業者等の農業問題、下水道事業等の生活排水問題、三十人学級等の教育問題など、各方面からの質問がなされました。

主な掲載内容

◎議案一覧	P 2
◎一般質問	P 3
◎意見書	P 6
◎特別委員会活動報告	P 6
◎請願陳情審査	P 6

一般質問

三月九日、十日、十一日に十名の議員が登壇し、質問を行いました。市政全般にわたり市当局の見解、今後の方針をたどりました。

鳥インフルエンザ対策や認定農業者支援策は

新政21 緒方敦男

ても認定農業者向けの新規事業を活用するなど積極的な支援を行いたい。

本市は県内でも有数の養鶏業が多い。市内の飼養数と金額、愛玩鶏と戸数は、又、風評被害も怖いが、その対策は。

答 六十二万羽弱の十六億円。八百二戸で九千九百四十一羽。

鳥飼養者全戸へ消毒薬配布と消毒の励行徹底を指導する。鳥の処分は、家畜保健衛生所に相談して欲しい。卵や鶏肉の安全を家庭や子どもにも徹底する。

問① 現在本市の認定農業者数と新たな支援策をどうする。

答 六百三十八経営体で、現在、資金の一〇〇%融資や国、県の補助事業対象は認定農家に限定、本市でも施設設置や施設修繕、機械購入、IT関連機器購入、農業法人化の取り組み等を支援、又、農産物直売所開設支援とし

内全市町村が緊縮予算である。市長は市町村合併をどのように考えておられるのか。又、市民に対する説明会は考えておられるのか。

答 地方交付税や補助金の削減により、これまでにない厳しい財政状況にあるので、合併には最後まで努力していく。座谈会はどちらの方向が出ても開く予定だ。



▲完備された子ども遊具広場

市立保育所の民間委託と記・紀の道整備はどうか

無会派 中野勝

問① 市立保育所の統廃合と民間委託はどうなったのか。

答 統廃合は考えていないが民間委託は平成十七年度から当面一ヶ所を俎上に挙げて検討する。それによって市の超過負担が約一千円軽減される。

問④ 平成十四年度一般・特別会計決算での市債総額は約二百八十二億七千万円にもなり今後が心配だがどうか。

答 借金は少ないほうがよいが、交付税などが削減されている中で、市民の生活を守るために予算を編成するには、ある程度は止むを得ないと思っている。

問⑤ 市税収入の落ち込みと不能欠損額が増加しているがその対策は。

答 平成十五年度から徴収嘱託員三名による現年度収入未済額の縮減を図っている。

次期市長選、園芸ハウスの補助対策は

政友会 井上司

問④ 現在使用しているハウスを強化する方法への助成はス強化に対する助成は考えていな。

答 市として現在使用中のハウス強化に対する助成は考えていな。

問① 市長就任以来の実績と評価についてご自身の率直な感想は。

答 「政治は市民が主役」を基本とし、BSE問題、本市独自の緊急対策、野菜価格低迷時の利子補給、農産物の販売促進、農産物加工施設整備、福栄産業企業誘致、ワイン新工場誘致、空店舗対策補助金制度、匠の会設立、子ども遊園地新設の取り組み等がある。

問③ あいそめ川や八尋殿など、伝承にもとづく記・紀の道の整備に取り組むべきではないか。

答 テーマパーク風か、自然の保存がよいか、検討していきたいい。

問② 次期市長選の出馬についての考えは。

答 一期で達成できなかつた施策、新たな行政課題解決のため引き続き市政の長として市政躍進に奮起したい。

宮崎では正指導を受けていた福栄産業への対応は

日本共産党 狩野保夫

問① 市町村合併については「自立」の決断をすべき時と考えるが、現状を踏まえての判断と今後の対応は。

答 当初の期限内での合併は困難だと思うが、合併の方向を視野にいれて努力したい。

問② (企業団地に) 誘致する福栄産業が、宮崎から移転して



▲市内のビニールハウス

問② 清水台公園と西都原をつり橋で結ぶ計画はどうか。

答 ユニークな構想だが市独自では困難であり県に相談し協議したい。

問③ ハウスの新規立て替えへの国県市の補助対策及び手助けの方法は。

答 国の助成事業は経営構造対策、生産振興対策事業で補助率は事業費の二分の一以内、県の補助率は三分の一以内である。

本市は国の事業を導入の時、事業費の五%、県の場合は事業費の十%の補助を実施している。



▲福栄産業が進出する
東九州サングリーン企業団地

とを決めたことについて教育長の見解は。
答 小学校低学年の生活指導や学習指導の難しさを考えたとき、大いに評価できるものと思ってる。

答 小学校低学年の生活指導や学習指導の難しさを考えたとき、大いに評価できるものと思ってる。

生活排水について

政友会 吉野和博

問① 現在の下水道整備進捗率と水洗化率について。

答 公共下水道事業の整備率は五五・六%、水洗化率は八八・三%、農業集落排水事業は、平成十六年四月一日で全面供用開始、水洗化率は三〇・八%、合併浄化槽は五八・七%となつてある。

問② 財政状況が厳しい中での市長の見解は。

答 現在の場所が手狭で、大型トラックの出入り口が不便であること等の理由で決定したものである。

問③ 福栄産業は農地法違反で建物を建設し、宮崎市農業委員会等から是正指導を受けた企業であることを知らなかつたのか。

答 身元調査はしていない。そういう事実があれば調査する必要があると思う。



▲合併処理浄化槽の設置作業

答 今後、事業推進にあたつては、地域の実態、経済比較等を勘案のうえ、場合によつては見直しを含め事業を進めていく。

答 下水道事業の完成予定期度は。

答 平成三十五年度を最終年度とした計画をしている。

問④ 污水処理原価と使用料単価は。

答 平成十四年度で、公共下水道での汚水処理原価は、一トン当たり四九〇円、使用料単価は一五一円、農業集落排水事業については、汚水処理原価は、一トン当たり五六六円、使用料単価は一五二円、農業集落排水事業については、汚水処理原価は、一トン当たり五六六円、使用料単価は一五三円。

問⑤ 合併浄化槽の普及状況は。

答 平成十六年三月現在で、合併浄化槽九九四基。

問⑥ 凈化槽の受検率は。

答 十一条検査、三六・七%。

市内中学校における進学指導について

市民クラブ 浜砂松生

西都原古墳群の世界文化遺産リスト登録を

政友会 浜砂一郎

問① 妻高校の普通科の充足率が非常に低い。進学先の選定に

際し、必ずしも校区制にしばられずに進学できるようになつたようになっているが、どのようなようになったのか。

答 ご指摘のとおり、本市を取り巻く財政状況は大変厳しい状況にある。平成十六年度の予算編成は、査定時に一般行政経費の徹底した削減を行つたところである。新たな西都市行政改革が設けられ、校区を指定していないところから、西都市からも受験が可能となつた。これらの学科の受験で不合格となつた生徒が地元の普通科高校に志願できることになったのが通学区域に関する改正である。

答 普通科については従来のとおりであり、宮崎市内の県立高校に、普通科系専門学科として「理数科」や「文化情報科」等が設けられ、校区を指定していないところから、西都市からも受験が可能となつた。これらの学科の受験で不合格となつた生徒が地元の普通科高校に志願できることになったのが通学区域に関する改正である。

問② 進路決定に至るプロセスはどのようになつてているのか。

答 進路に関する指導は多岐にわたつており、三年間で三十時間実施しており、三年生になると、個人相談、三者面談を繰り返し実施し、進路先の決定を行つていて。

問③ 西都原古墳群の世界文化遺産リスト登録を目ざし、官民一丸となつた運動を展開すべきではないか伺いたい。

答 西都原古墳群の世界文化遺産リスト登録の件については、過去数回にわたらる質問があり、その度に県教育委員会と協議を行つていて。

答 西都原古墳群の世界文化遺産登録は、過去数回にわたらる質問があり、その度に県教育委員会と協議を行つていて。

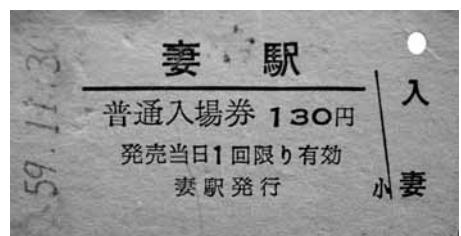


▲西都原古墳群の世界文化遺産登録は・・・

いたしましたが、率直に申し上
げ、西都原古墳群の世界文化遺
産リスト登録については、大変
厳しいと感じている。この件に
ついては、大変難しく、また、
厳しい課題でもあり、今後も県
と協議して取り組んでいきたい
と考えている。

国鉄妻線の廃止二十周年 を迎えるにあたつて

新政21 内藤邦弘



▲旧妻駅の入場券

新工エネルギー政策と子育 て支援の組織づくりを 政友会 新名美穂子



▲太陽光発電を設置している
宮崎市の鏡洲小学校

問② 西都市に多くの恩恵を与
えてくれた旧国鉄妻線が廃止に
なり今年で二十年になる。次の
世代を引き継ぐ子どもたちに西
都の歴史を伝えるうえでも妻線、
妻駅跡を身近な教育素材として
活用を図り、また観光資源、商店
街の活性化策としても積極的

答 あらゆる行政分野において
積極的に取り組み実績をあげさ
せていただき、西都市に貢献で
きた。二期目については立候補
し、これまでに達成できなかつ
た施策の実現に向け全力投球し
ていく。

問① 市長は就任以来様々な施
策を推進してきたが、三年間の
自己評価と、来年の市長選挙に
はどのような態度を取られるの
か。

答 あらゆる行政分野において
積極的に取り組み実績をあげさ
せていただき、西都市に貢献で
きた。二期目については立候補
し、これまでに達成できなかつ
た施策の実現に向け全力投球し
ていく。

に活用していく考えはないか。

答 現在建設予定中である児童
館の玄関付近を妻駅舎風できな
いか担当課に指示を出している。
今、市内のボランティアグル
ープが妻駅の入場券を復活させる
活動をしているので市としても
応援したい。商店街の振興とし
ては、現在小野崎通り商店街を
中心として計画されている妻線
廃止二十周年に向けてのイベン
トを要望に応えられるような形
で積極的に支援していく。

より経済効果もあるが設置する
考えはないか。

答 民間の方が情報を持つてい
る場合が多い。有利な情報があ
れば提供していただき行政と
「協働」して欲しい。太陽光発
電については再度検討し可能な
電を取付ける。

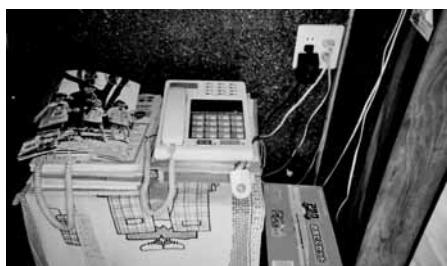
合併の問題、高齢者福祉 とエントランスの整備を

公明党 吉野元近

問① 市の将来を見据え、ほぼ
百パーセント補助のある「地域
新エネルギービジョン策定事

問② 合併、非合併のシミュレ
ーションについて伺いたい。

答 合併問題は、充分時間をか
けて論議をする問題であるので、
市民に情報を提供し意見を聞か
ないといけないと考えている。



▲独居老人宅の緊急通報システム

業の導入について取り組まれ
る考え方はないか。

答 新エネルギーは積極的に取
り組まねばならない。地球温暖
化、石油、石炭などの化石燃料
の枯渇化等、緊急課題である。

県の方針を参考にして取り組む。

答 ひとり暮らしの高齢者が緊
急を要する時、通報機器やペ
ンダントで受信センター、協力員
へ通報されて救助にあたるもの
で、百三十五台設置されており、
平成十五年から新システムへ切
り替えている。

問③ 独居老人の福祉施策での
づくりを目指し「子育て支援委
員会」の組織づくりはできない
か。

答 次世代育成支援推進法に基
づく「市町村行動計画」策定や
「子育て支援センター事業」の
導入の中で、従来の組織体制を
見直し、可能な限り市民と行政
の協働を図り、子育てに市民参
画を目指す。

答 ひとり暮らしの高齢者が緊
急を要する時、通報機器やペ
ンダントで受信センター、協力員
へ通報されて救助にあたるもの
で、百三十五台設置されており、
平成十五年から新システムへ切
り替えている。

問④ 市のエントランス（入
口）ゾーンの整備について伺
いたい。

答 施設整備については、現在
「このはな館」で充分役割を果
たしていると思っている。今後
幅広くその活用を検討してまい
りたい。

問① 東児湯との合併につい
て伺いたい。

答 西都市のおかれている地理
的な条件と、東児湯は二回目の
法定協議会の審議を開始したが、
新富町の参加問題で大混亂が起
きている現状を考えると、東児
湯との合併は厳しいと思ってい
る。

意見書

第一回定例会で可決され衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣等に提出された意見書

特別委員会活動報告

地球温暖化防止のための森林吸収源対策の確実な推進を求める意見書

我が国の森林は、木材の供給はもとより、国土の保全、良質な水の安定的な確保など、多面的機能を有しており、豊かな国民生活を送る上で欠くことのできないものとなつてゐる。

京都議定書では、我が国が国際的に約束した温室効果ガス削減目標六%のうち、三・九%を森林による吸収量で確保することとしていることから、削減約束の達成には適切な森林整備・保全の推進が不可欠なものとなつてゐる。

しかしながら、我が国の森林整備を担う林業は、国産材需要の減少等を要因とする木材価格の低迷等により採算性が大幅に悪化してゐる。

この結果、我が国の森林は間伐がとの三元化が一気に行われた。しかし、人工林や伐採後植林が行われない、いわゆる植栽未済地が増加するなど、このまま推移すれば二酸化炭素の吸収量の減少や、森林のもつ多面的機能の発揮に支障を来たすことが懸念されている。

このため、森林整備に必要な財源を確保し、併せて国産材の利用を推進することにより、森林吸収源対策を着実に進めていくことが極めて重要であり、この対策の推進は、林業の活性化はもとより山村地域の振興にもつながるものである。

よって、国においては、森林整備の諸対策を一層充実させ、森林

のもつ多面的機能を高めることと併せ、温暖化対策税の創設とその税を森林整備を推進するための新たな財源として位置付け、地球温暖化防止のための森林吸収源対策の確実な推進と林業の活性化並びに山村振興を図られるよう地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成十六年三月十九日

宮崎県西都市議会

請願陳情審查

第一回定例会で審議された請願 及び陳情の概要と結果

乳幼児医療費無料制度の充実を求める請願

提出者 新日本婦人の会西都支
部 審査結果 繙続審査 内容 代表者 小牟田ユミ子氏
当面四歳までに拡大してほしい

議會報編集委員會

委員長
畠井上照也
委員
中野勝
浜砂松生
新名美穂子
吉野元近
狩野保夫

任文第言

活動方針 市町村合併における具体的な調査、研究及び先進地調査、並びに法定合併協議会の早期設置に対する働きかけ

○行政調
主な活動

○主な活動

高速道路アクセスを 県道の現地調査及び 特別委員会

正略相合研究會
特別委員會

